

ひかわ ちいき
斐川地域の川や水路の
生きものたち



ミナミヌマエビ



チリメンカワニナ



ムカシトンボ



カマツカ

出雲市

平成27年3月

注意しましょう！

- ・水辺へ一人で行くのはきけんです。大人といっしょに行きましょう。
- ・川では、採^とってはいけない生きものや、使^とってはいけない道具があります。決まりを守りましょう。
- ・ブラックバスやウシガエルなどの特定外来生物^{とくていがいらいせいぶつ}を生きたまま他の場所へ持^かって行くことや飼^{ほりつ}うことは、法律で禁止されていますのでやめましょう。
- ・ペットのカメやザリガニ、金魚などの生きものや水草を川や水路に放すのは、やめましょう。

生きたまま移動はできません！（特定外来生物※1）



オオクチバス（ブラックバス）



ブルーギル



ウシガエル

※1 特^{とく}に生態系^{せいざいけい}への影響^{えいきょう}が大きい^{ほりつ}ため法律^{いどう}で移動^{しゅうく}や飼育^{がいらいせいぶつ}が禁止されている外来生物

最後まで責任^{せきにん}をもって飼^{ほりつ}いましょう！（要^{よう}注意^{ちゅうい}外来生物※2）



ミシシippアカミミガメ（ミドリガメ）



アメリカザリガニ

※2 生態系^{せいざいけい}への影響^{えいきょう}が大きい^{ほりつ}ため法律^よで注意^{がいらいせいぶつ}を呼びかけている外来生物

もくじ

| | |
|------------|----|
| 斐川地域の川① | 4 |
| 斐川地域の川② | 5 |
| ウキクサ | 6 |
| クロモ | 7 |
| ミズオオバコ | 8 |
| エビモ | 9 |
| コナギ | 10 |
| ヒシ | 11 |
| クルマヒラマキガイ | 12 |
| チリメンカワニナ | 13 |
| マルタニシ | 14 |
| ヒメタニシ | 15 |
| イソコツブムシの一種 | 16 |
| ミズムシ | 17 |
| ミナミヌマエビ | 18 |
| スジエビ | 19 |
| ムカシトンボ | 20 |
| コヤマトンボ | 21 |
| コオニヤンマ | 22 |
| ナミアメンボ | 23 |
| コシマゲンゴロウ | 24 |
| ヒメガムシ | 25 |
| コガムシ | 26 |
| マルヒラタドロムシ | 27 |
| ゲンジボタル | 28 |
| ナマズ | 29 |
| カマツカ | 30 |
| ヌートリア | 31 |

斐川地域の川①

出雲市斐川地域には、たくさんの川があります。斐伊川の本流以外は幅の小さい川が多いです。山地には、細い沢が、たくさんありますが、畑川やその支流のように水が多く流れている川は、とても少ないです。



斐川地域の地図



はただにがわりしゅう あぐ
①畑谷川支流(斐川町阿宮)



やなぎがわ かんび
②柳川(斐川町神水)



しんいしかわ がくとう
③新石川(斐川町学頭)



しんたてがわ なおえ
④新建川(斐川町直江)

斐川地域の川②

平野の中の川は、水路のような川が多いです。岸辺にヨシが生えているような場所では、たくさんの生きものがすんでいます。また、^{しんじこ}宍道湖の近くになると^{きすい}汽水(※)の生きものも見るすることができます。



⑤^{しんたてがわ}新建川(斐川町^{みつがね}三絡)



⑥^{しんたてがわ}新建川(斐川町^{しょうばら}莊原)



⑦^{あんばがわ}網場川(斐川町^{なかのす}中洲)



⑧^{ごえもんがわ}五右衛門川(斐川町^{かみなおえ}上直江)



⑨^{しんかわ}新川(斐川町^{いまざいけ}今在家)



⑩^{てんじんがわ}天神川(斐川町^{おきのす}沖洲)

(※) ^{みずうみ}川や湖などの^{まみず}真水と^{かいすい}海水が^ま混ざっている水のことです。

ウキクサ



●分類:オモダカ目サトイモ科

●学名(※1):*Spirodela polyrhiza*

●大きさ:葉の長さは、3-10mm、幅2-8mm。

●特徴:葉状体(※2)と根はばでできています。葉状体の裏側うらは、赤紫あかむらさき色をしています。葉状体が2-4個つながって、水面うに浮いています。

●生育場所:田んぼはばや水路、池などの水面に、群むらがって生えています。斐川地域でも色々な場所で見られます。

●分布(※3):日本全国ふんぷに分布ふんぷしています。

(※1) 世界共通の生き物の名前。ラテン語やギリシャ語で書きます。

(※2) ウキクサには、細長い茎がありません。葉状体は、葉と茎が変形してできたと考えられています。

(※3) 生きものがすんでいる国や地域、島などの範囲はんいのことです。

クロモ



オオカナダモ



コカナダモ

- 分類:オモダカ目トチカガミ科
- 学名:Hydrilla verticillata
- 大きさ:葉の長さは、8-20mm、幅^{はば}1-3mm。
- 特徴:外来種^{とくちょう}(※1)であるオオカナダモやコカナダモによく
いますが、葉に柄^えがないことや、葉のふちに目立つ鋸歯^{きよし}(※2)がある
ところで見分けられます。また、1節^{せつ}に葉を3-8枚つけます。
- 生育場所:湖やため池、河川、水路などに生えています。斐川
地域では、平野の水路で見られます。
- 分布:日本全国(沖縄をのぞく)^{ぶんぷ}に分布しています。

(※1) 外国から来た生きもの。もともといなかった場所に別の場所から入ってきた生き物。

(※2) ノコギリの歯のような「ぎざぎざ」した形のこです。

ミズオオバコ



- 分類:オモダカ目トチカガミ科
- 学名:Ottelia alismoides
- 大きさ:葉の大きさは、3-35cm。
- 特徴:とくちょう水深によってサイズや葉の形が大きく変化する水草です。一般的に葉の形は幅が広いことが特徴です。花の色は、白いものからあわもも淡い桃色も見られます。
- 生育場所:ため池や水路、田んぼなどに生えています。斐川地域では、9月頃、花が水面に出ている所をよく見かけます。
- 分布:ぶんぷ日本全国に分布しています。ぶんぷ全国的に減っている水草です。

エビモ



- 分類:オモダカ目ヒルムシロ科
- 学名:Potamogeton crispus
- 大きさ:葉の長さは、2-10cm。
- 特徴:^{とくちょう}水の流れている場所でよく見られる水草です。^{ようみやく}葉脈(※)が赤みがかっていて、葉の縁が^{ふち}ちぢれたように^{なみう}波打っています。
- 生育場所:ため池、河川、水路など水のある色々な所に生えています。斐川地域では、水路で見られます。
- 分布:^{ぶんぷ}日本全国に^{ぶんぷ}分布しています。水のおよぐに強い水草です。
(※) 葉の中にある^{くだ}管のこと。線のように見えます。

コナギ



- 分類:オモダカ目サトイモ科
- 学名:Monochoria vaginalis
- 大きさ:植物全体の大きさは、10-40cm。
- 特徴:葉が細長いものから卵の形のような丸いものまで色々な形があります。^{とくちょう}葉が細長いものから^{たまご}卵の形のような丸いものまで色々な形があります。紫色をした花がさきますが、葉よりも高い所に出てこないので、あまり目立ちません。
- 生育場所:斐川地域では、主に田んぼに生えています。時々ため池や川の水の浅い所に生えています。
- 分布:日本全国に分布しています。

ヒシ



- 分類:オモダカ目トチカガミ科
- 学名:Trapa japonica
- 大きさ:葉の長さは、2-5cm、幅2-8cm。
- 特徴:葉はひし形をしていて、柄えの部分がふくれて浮き袋うぶくろの役目をしてます。花は白色で、果実には大きなトゲがあります。
- 生育場所:ため池、川や水路に生えています。少しよごれた水の方の方がよく育ちます。斐川地域のため池や水路でふつうに見られます。
- 分布:日本全国ふんぷに分布ふんぷしています。

クルマヒラマキガイ



横から見た
クルマヒラマキガイ



ヒラマキミズマイマイ

- 分類:ヒラマキガイ科
- 学名:Hippeutis cantori
- 大きさ:貝がらの大きさは、5-10mm。
- 特徴:貝を上から見ると円い形で、横から見ると平らな台形をしています。よく似た巻き貝にヒラマキミズマイマイがいます。
- 生息場所:水草が多く生えた、水の流れのゆるい水路にすんでいます。斐川地域では、少ない貝です。
- 分布:近畿地方から西側の日本に分布しています。国外では、アジア地域に広く分布しています。

チリメンカワニナ



- 分類:カワニナ科
- 学名:Semisulcospira reiniana
- 大きさ:貝がらの長さは、10-20mm。
- 特徴:カワニナによく似ている巻き貝で、色は、黄土色や茶色、黒です。カワニナとの違いは、貝がらに縦にもりあがった線があることです。チリメンカワニナの中には、この線がはっきりしていないものもいて、カワニナとの区別が難しい場合もあります。
- 生息場所:平野部の川や水路にすんでいます。山の中の流れの速い川には、カワニナだけがすんでいます。
- 分布:日本全国(沖縄をのぞく)に分布しています。

マルタニシ



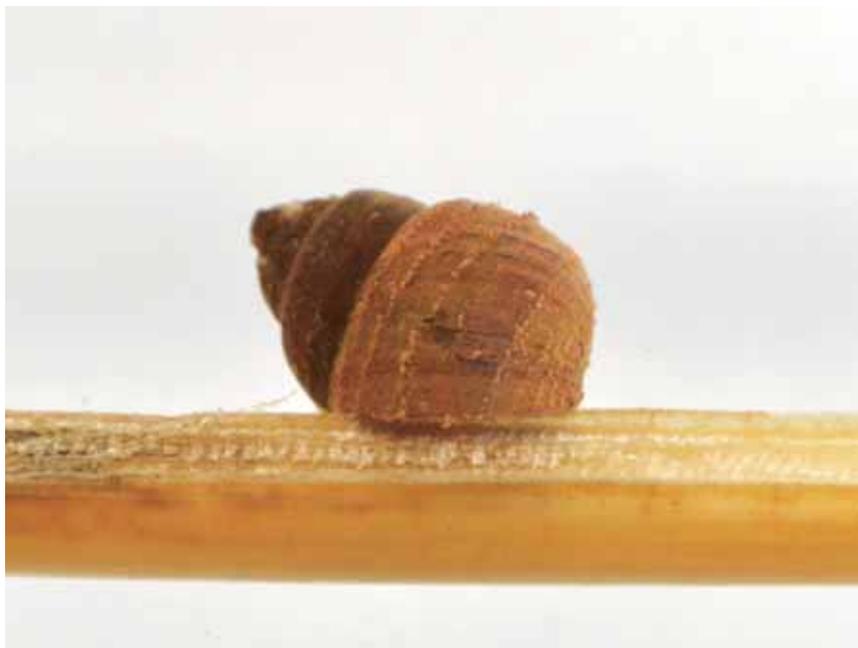
マルタニシ



オオタニシ

- 分類:タニシ科
- 学名:Cipangopaludina chinensis laeta
- 大きさ:貝がらの大きさは、20-40mm。
- 特徴:とても丸みのある巻き貝です。貝がらの色は、黒や茶色が多いですが、黄土色とくちようのこともあります。オオタニシやヒメタニシと見分けるのは難しいですが、貝がらの大きさむずかが20mm以上でとても丸い形をしていればマルタニシです。
- 生息場所:田んぼや水路にすんでいます。出雲平野の田んぼでもっとも多く見られるタニシです。冬の間は、泥の中にもぐどろっています。
- 分布:日本全国と中国ぶんぶに分布しています。

ヒメタニシ



- 分類:タニシ科
- 学名:Sinotaia quadrata histrica
- 大きさ:貝がらの長さは、10-30mm。
- 特徴:^{とくちょう}三角に近い形をした^ま巻き貝です。貝がらは、小さくても^{あつ}厚みがあります。貝がらの色は、茶色や黄土色が多いですが、^{すいしつ}すんで^{えいぎょう}いる場所の水質の影響で鉄さび色(赤茶色)に^{あつ}そまっています。
- 生息場所:^{しんじ}流れのない水路にすんでいます。斐川地域では、^{しんじ}宍道湖の近くの水路で特に多く見られます。
- 分布:^{ぶんぷ}本州、四国、九州(沖縄をのぞく)に^{ぶんぷ}分布しています。

イソコツブムシの一種



- 分類：ワラジムシ目コツブムシ科
- 学名：Gnorimosphaeroma sp.
- 大きさ：体の長さは、5-8mmほど。
- 特徴：とくちょう水の中にすむダンゴムシやワラジムシの仲間です。体の形は、ダンゴムシに似ていて、丸まることができます。また、水中ですばやく泳ぐことができます。せなか背中の色やもようは変化が大きく、同じ場所でも色々な色が見られます。
- 生息場所：しんじこ穴道湖に流れ込む川にすんでいます。こ水中の水草や石などの上を歩きまわります。
- 分布：ぶんぷ汽水にすむイソコツブムシの仲間は、日本全国に分布しています。

ミズムシ



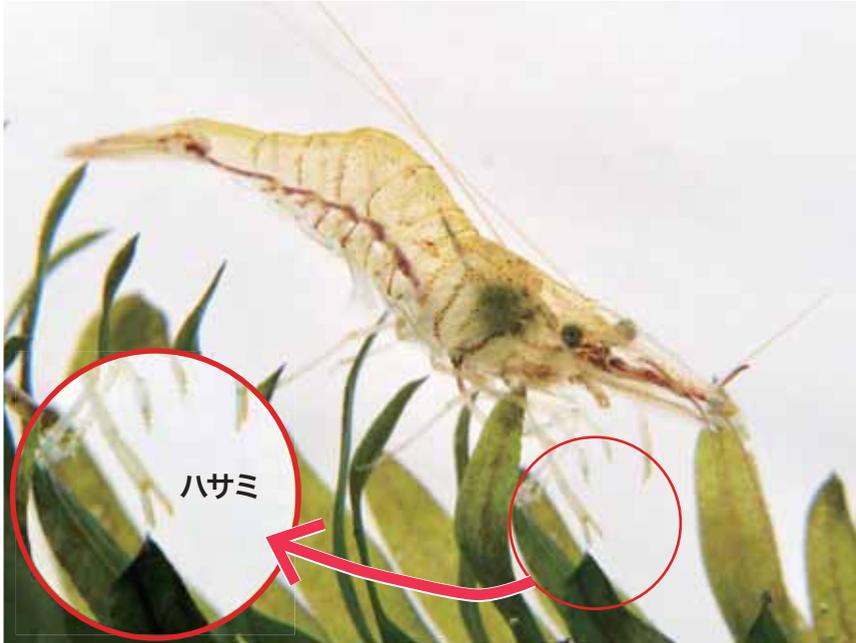
- 分類：ワラジムシ目ミズムシ科
- 学名：Asellus hilgendorfi
- 大きさ：体の大きさは、5-10mmほど。
- 特徴：背中には、8枚の節とくちょうがあります。頭が小さく、ふし触角や足がしよっかくとても長いです。背中は灰色で、細かなもようがあります。
- 生息場所：池や田んぼ、水が流れていない水路や川などにすんでいます。水のごじれた場所にもすむことができます。「よごれた水」の生物とされていますが、きれいな水にもすんでいますので、ミズムシがただで水がきたないわけではありません。
- 分布：ぶんぷ日本全国にぶんぷ分布しています。

ミナミヌマエビ



- 分類:エビ目ヌマエビ科
- 学名:Neocaridina denticulata
- 大きさ:体の長さは、2-3cm。
- 特徴:頭の先が長くとがっています。体の色には、透明や赤茶色、青色など変化があります。
- 生息場所:水草の多い場所にすんでいます。宍道湖に流れ込む川や水路では、一番多いヌマエビの仲間です。ため池にいることもあります。
- 分布:日本では本州、四国、九州(沖縄をのぞく)に分布しています。国外では、東アジアに広く分布しています。

スジエビ



- 分類:エビ目テナガエビ科
- 学名:Palaemon paucidens
- 大きさ:体の長さは、4-6cm。
- 特徴:^{とくちょう}頭の先が長くとがっています。体は^{とうめい}透明で、赤や黒の線のもよう(横しまもよう)があります。前の方にある足には、小さなハサミがあります。^{なかま}ヌマエビの仲間よりも大きくなります。
- 生息場所:水草の多い場所にすんでいます。川や水路だけでなく、ため池でも多いエビです。
- 分布:^{ふんぶ}日本全国(沖縄をのぞく)に分布しています。^{ふんぶ}国外では、^{ちょうせんはんとう}朝鮮半島 ^{ふんぶ}に分布しています。

ムカシトンボ



成虫

- 分類:トンボ目ムカシトンボ科
- 学名:*Epiophlebia superstes*
- 大きさ:幼虫の体長は、5-18mmほど。
- 特徴:幼虫(ヤゴ)の体は、黒から黄土色など変化があります。さわってみると、体はとてもかたいです。幼虫は、成虫になるまでに5年から8年ほどかかると言われています。成虫は、春の短い時期にだけ現れます。
- 生息場所:山の中の日かげの沢で、流れがあり、夏でも水が冷たい場所にすんでいます。斐川地域では、限られた場所で見つかっています。
- 分布:日本全国(沖縄をのぞく)に分布しています。

コヤマトンボ



- 分類:トンボ目ヤマトンボ科
 - 学名:Macromia amphigena
 - 大きさ:成長した幼虫ようちゆうの体長は、28mmほど。
 - 特徴:大きな幼虫ようちゆう(ヤゴ)です。特に腹部の幅が広く、クモのよう
な長い足があります。体や足は、茶色や黄土色をしています。
 - 生息場所:幼虫ようちゆうは、水辺にヨシ(※)などの植物が生えている川
や水路にすんでいます。水の中の植物の茎くきや根にしがみついでい
ます。
 - 分布:日本では本州、四国、九州(沖縄をのぞく)に分布していま
す。国外では、朝鮮半島ちょうせんはんとうや中国東北部ぶんぶに分布しています。
- (※) 水辺みすべに生える背せの高いイネの仲間なかまの植物。別名はアシ。

コオニヤンマ



- 分類:トンボ目サナエトンボ科
- 学名:Sieboldius albardae
- 大きさ:成長した^{ようちゆう}幼虫の体長は、40mmほど。
- 特徴:幼虫(ヤゴ)の体は、黒や茶色です。体は、かれた葉に似ています。とても平たいですが、^{ふくぶ}腹部の^{はば}幅が^{しよつかく}広いです。触角が丸くて平らな形をしています。
- 生息場所:流れのある川にすみます。斐川地域では、限られた川で見つかっています。
- 分布:^{ふんぶ}日本全国(沖縄をのぞく)に^{ふんぶ}分布しています。国外では、^{ちようせんはんとう}朝鮮半島や^{ふんぶ}中国まで広く分布しています。

ナミアメンボ



- 分類:カメムシ目アメンボ科
- 学名: *Aquarius paludum*
- 大きさ:体の長さは、10-15mmほど。
- 特徴:体は、細長いです。中足と後足がとても長いです。この長い足を使って水面を動きます。水面に落ちた小さな虫を前足でつかまえ、細長い口をさしこんで食べます。成虫には羽があり、飛ぶこともできます。
- 生息場所:アメンボは、池や水たまりにすむイメージがありますが、ナミアメンボは、川にもたくさんすんでいます。斐川地域の川でもよく見られます。
- 分布:日本全国とその周辺の国に広く分布しています。

コシマゲンゴロウ



- 分類:コウチュウ目ゲンゴロウ科
- 学名:Hydaticus grammicus
- 大きさ:体の長さは、10mmほど。
- 特徴:背中はうすい黄土色で、羽には黒いすじのもようがあります。とくちょう せなか
はらがわ なかま 腹側は、オレンジ色をしています。ゲンゴロウの仲間は、羽の下に空気をためることができます。
- 生息場所:田んぼに多くすんでいます。田んぼに水がなくなると、流れがなく水草の多い水路やため池などに集まってきます。
- 分布:ぶんぷ日本全国とそその周辺ぶんぷの国に広く分布しています。

ヒメガムシ



●分類:コウチュウ目ガムシ科

●学名: *Sternolophus rufipes*

●大きさ:体の長さは、10mmほど。

●特徴:体は、だ円形で、背中に丸みがあり、腹は平らです。背中也
はら せなか はら せなか
腹も黒く、足は暗いオレンジ色をしています。ガムシの仲間は、腹
はら なかま はら
の下に空気をためることができます。そのため、水中にいるとき
は、腹側はらがわの空気が銀色に光って見えます。

●生息場所:田んぼに多くすんでいます。田んぼに水がなくなると、流れがなく水草の多い水路やため池などに集まってきます。

●分布:日本全国とその周辺ぶんぷの国に広く分布ぶんぷしています。

コガムシ



- 分類:コウチュウ目ガムシ科
- 学名:Hydrochara affinis
- 大きさ:体の長さは、16-18mmほど。
- 特徴:背中は黒く、とくちょう せなか はらがわ腹側や足は、うすい黄土色をしています。ヒメガムシに体の色や形が似ていますが、コガムシの方が大きいです。
- 生息場所:田んぼに多くすんでいます。田んぼに水がなくなると、流れがなく水草の多い水路やため池などに集まってきます。
- 分布:ぶんぷ日本全国とその周辺ぶんぷの国に広く分布しています。

マルヒラタドロムシ



- 分類:コウチュウ目ヒラタドロムシ科
- 学名: *Eubrianax ramicornis*
- 大きさ: ^{ようちゅう}幼虫の体の長さは、5-8mmほど。
- 特徴: ^{とくちょう}幼虫は、丸く平らです。^{はらがわ}腹側に頭や足がかくれています。^{はら}腹には、ふさふさとしたエラがあります。水の中にいるのは、^{ようちゅう}幼虫の時だけです。
- 生息場所: 石の多い小川にすみます。^{ようちゅう}幼虫は、水の中で石にはりついています。^{せいちゅう}成虫は、5月から6月ごろに川辺の草の上にあります。
- 分布: ^{ぶんぷ}本州、^{ぶんぷ}四国、^{ぶんぷ}九州(沖縄をのぞく)に分布しています。

ゲンジボタル



●分類:コウチュウ目ホタル科

●学名:Luciola cruciata

●大きさ:幼虫ようちゆうの体の長さは、5-18mmほど。

●特徴:背中は、黒く黄色のもようがあります。ヘイケボタルの幼虫とくちょうに似ていますが、ゲンジボタルの幼虫ようちゆうの方が大きくなります。腹部ふくの横にある長い角ぶのようなものは、足ではなく、エラです。幼虫ようちゆうも光ることができます。成虫が川辺せいちゆうに出てくる時期は、6月です。

●生息場所:流れのある川にすんでいます。幼虫ようちゆうは、カワニナの仲間なかまを食べます。

●分布:本州、四国、九州(沖縄ぶんぶをのぞく)に分布しています。

ナマズ



- 分類:ナマズ目ナマズ科
- 学名:Silurus asotus
- 大きさ:60cmほどまで成長します。
- 特徴:^{とくちょう}頭や口が大きく、上あごに長い2本のひげがあります。目立ちませんが、^{はら}下あごにも短い2本のひげもあります。腹に大きなヒシがありますが、背中には、小さなヒシしかありません。小魚やカエルなどを食べます。
- 生息場所:池や川にすんでいます。春になると、田んぼのまわりの水路などにやってきて^{たまご}卵を産みます。夏から秋に水路で小さなナマズを見ることができます。
- 分布:^{ぶんぷ}日本全国とその周辺の国に広く^{ぶんぷ}分布しています。

カマツカ



- 分類: コイ目コイ科
- 学名: *Pseudogobio esocinus*
- 大きさ: 体の長さは、10-20cmほど。
- 特徴: ^{とくちょう}細長い魚です。頭が大きく、口先がとがっています。口には、2本のヒゲがあります。口は、下向きにのぼすことができます。砂の中にいるエサを砂といっしょにすいこみ、エラから砂だけをはき出します。
- 生息場所: ^{そこ}底に砂が多い川や水路にすんでいます。
- 分布: 日本では本州、四国、九州(沖縄をのぞく)に分布しています。^{ぶんぶん}国外では、^{ちょうせんはんとう}朝鮮半島と^{ぶんぶん}中国に分布しています。

がいらいしゅ
外来種

ヌートリア



- 分類:ネズミ目ヌートリア科
- 学名:Myocastor coypu
- 大きさ:体の長さは、40-60cmほどです。
- 特徴:大きなネズミのような姿をしています。背中の毛の色は、こげ茶色です。耳は小さく、ヒゲがたくさん生えています。しっぽは、少し太くて毛が生えています。
- 生息場所:池や川、水路などの水辺にすんでいます。水面で泳ぐだけでなく、水中へもぐることもできます。水から上がって水辺を歩くこともあります。
- 分布:南アメリカの生きものです。日本では、毛皮をとるために輸入されて飼われていましたが、やがて野外の池や川でも増えてしまった外来種です。



ミズオオバコ

ひかわちいき
斐川地域の川や水路の生きものたち

発行 出雲市 文化環境部 環境政策課
〒693-8530 出雲市今市町70
TEL 21-6987/FAX 21-6597
協力 ホシザキグリーン財団(調査受託)
印刷所 株式会社 報光社